

広島大学

令和 7 年度一般選抜(後期日程)

解答例又は出題の意図等

科目名:小論文

歯学部 歯学科

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

令和7年度

広島大学一般選抜（後期日程）

歯学部歯学科

小論文

出題の意図

問1

AIやチャットGPTの時代となると、20年後、30年後には現在ある職業のうち、多くが変化している可能性がある。例えば翻訳機能が充実することで、どの国の言語でもコミュニケーションが可能となる。文章校正の職業は、まだ存続しているだろうか。他の言語を習得する必要はなくなるだろうか。

ツールを使用することは、一時的で表面的なコミュニケーションには有効かもしれないが、コミュニケーションにおいて人間性が反映される言語の選択が行われず、没個性的な言語があふれる可能性がある。一方で、AIが進化することで、人間への教育は衰退するのだろうか。AIが活躍する社会に移行すれば、リテラシーなど人に対する教育をより充実させる必要が生じることから、人間力の醸成はより重要となる。

この問いは、受験生の想像力、社会と人間への理解、倫理的洞察力を問うものである。

令和 7 年度

広島大学一般選抜（後期日程）

歯学部歯学科

小 論 文

出題の意図

問 2

本問題は、それぞれの事情に応じた働き方を選択できる社会を実現する働き方改革が推進される現代社会において、就業機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる医療環境を作るにはどうすればよいか、受験生の考え方を問うものである。

少子高齢化や多様化する労働者のニーズに対処し、医療環境における就業機会の拡大や意欲・能力の発揮を実現するためには、例として以下の取り組みが必要と考えられる。まず、柔軟な働き方の導入が重要である。医療業界は特に長時間労働やシフト勤務が多いため、働き方の柔軟性を確保することで、育児や介護との両立を支援できる。具体的には、フレックスタイム制度やリモートワークの導入を進めるとともに、シフト制の見直しや短時間勤務のオプションを提供することが考えられる。また、メンタルヘルスやワークライフバランスの支援も欠かせない。医療従事者はストレスや過重労働にさらされやすく、これが業務への意欲や能力に影響を及ぼすことがある。心理的なサポートやカウンセリングサービスの提供、ストレス管理のためのプログラムを導入することで、従業員のメンタルヘルスを保つことができる。さらに、女性や高齢者など、多様な人材の受け入れを促進することも重要である。育児や介護などの理由でキャリアの中断があった人々に対して、再就業支援や職場復帰プログラムを提供し、経験や能力を活かせる環境を整えることで、多様な人材の活躍を支援できる。これにより、医療業界全体の人材の多様性と専門性が向上する。以上の取り組みを進めることで、医療環境における就業機会の拡大や意欲・能力の発揮が実現できると考えられる。

受験生の解答には様々な記述が予想されるが、解答の中で、アドミッション・ポリシーに掲げる受験生の豊かな想像力、将来医療人になるための十分な責任感と豊かな人間性、問題解決能力、論理的思考力を評価する。